

令和5年度第11回公立大学法人滋賀県立大学役員会議事録

日時・場所：令和6年3月19日（火）15:30～16:50 評議会室

出席者：井手理事長、宮川副理事長、小泉理事、松岡理事、中嶋理事、林理事、上原理事、
山本監事、元永監事

事務局：澤野事務局次長、山田総務課長、高木財務課長、寺村経営企画課長、
川分学生・就職支援課長、郡田教務課長、山中地域連携・研究支援課長、
堀江高等専門学校開設準備室長、藤居主幹

令和5年度第10回公立大学法人滋賀県立大学役員会議事録（案）は、原案どおり承認された。

議 題

（審議事項）

1 公立大学法人滋賀県立大学業務方法書の改正について

寺村経営企画課長から資料に基づき説明があり、原案のとおり承認された。

〔主な意見・質疑等〕

- ・想定外の事態が生じた場合、これまでは中期計画自体を変更するのではなく年度計画で当該事案を取り上げることで対応されてきた。年度計画の廃止に伴い、今後の業務運営の在り方をどのように考えているか。
⇒ 年度計画は廃止されたが、中期計画に定められた評価指標と目標値に従って、法人評価委員会において引き続き年度ごとに進捗確認がなされる予定である。想定外の事態が生じたとき、計画をどう修正するかは、法人評価委員会との協議になるだろう。なお、現中期計画は、期間中に、高専の開校にあわせて改定される予定であり、その折に他の計画部分を変更することは可能である。
- ・他の大学でも本学と同様に中期計画だけを策定し、評価指標と目標値によって毎年度、進捗管理を行うような対応をされているか。
⇒少なくとも他の公立大学では同様の対応がされている。

2 学内規程等の改正について

山田総務課長および堀江高等専門学校開設準備室長から資料に基づき説明があり、原案のとおり承認された。

〔主な意見・質疑等〕

- ・人材不足が言われる中で、新設される高専に優秀な教員を確保するためには、賃金水準とともに、リモート勤務などの柔軟な勤務形態等を含めたより魅力的な労働条件を提示していかないといけないのではないか。
⇒ 給与水準については、大学教員との比較や、既存高専の状況などを調査中である。また、働き方という面では、大学とは違い、高専特有の学生指導や部活動指導、学生寮の宿直などが教

員の負担になっていることもあり、こうした負担の軽減方法も合わせて検討しているところ。
加えて、民間からの教員の確保を可能にするクロスアポイントメント制度の導入なども検討している。

3 令和5年度予算繰越（案）について

高木財務課長から資料に基づき説明があり、原案のとおり承認された。

4 令和6年度予算（案）について

高木財務課長から資料に基づき説明があり、原案のとおり承認された。

[主な意見・質疑等]

- ・ 全体の予算額としては設備の更新で増額になっているが、新規事業の状況はどうか。
⇒ 新規事業としては、未来人財応援奨学金、教育支援センター設置、滋賀県看護地域枠制度キャリア形成支援事業が措置されている。中期計画の推進のために、それら以外にも新しい試みができないかと考えている。

(報告事項)

1 令和5年度第3四半期までの予算執行状況について

高木財務課長から資料に基づき報告があった。

[主な意見・質疑等]

- ・ 1人あたりの教育経費が少なくなっているのではないかと。
⇒ 昨年度は大型の備品購入があった関係で、今年度は執行額が減っている。
ただし、教育経費が少ないことについては課題と認識しており、他学の状況も調査中である。できるだけ教育経費を充実させていきたい。

2 令和6年度一般選抜試験（前期日程）の合否状況ならびに一般選抜試験（後期日程）受験状況について

郡田教務課長から資料に基づき報告があった。

3 令和5年度卒業・修了予定者の進路内定状況等について

川分学生・就職支援課長から資料に基づき報告があった。

[主な意見・質疑等]

- ・ 一般には人手不足が言われているが、学生を指導する職員としての感触はどうか。
⇒ 内定率からは大きな変化は読み取れないが、内定時期は早まっているように思われる。

4 令和6年度会議開催予定表について

山田総務課長から資料に基づき報告があった。

5 役員の交代について

井手理事長から資料に基づき報告があり、上原理事から退任のあいさつがあった。